

毎月11日は

# 防災を考える日

問 危機管理課 防災安全係 ☎ 22-3402



知っていますか？ 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」

ほっかいどう

さんりくおき

こうはつ

じしん

ちゅういじょうほう

## ■ 日本海溝・千島海溝沿いの地震に注意しましょう

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、北海道根室沖から三陸沖にかけてM7.0クラスの地震が発生した場合に、それに続いて、さらに大きな地震が発生する可能性が相対的に高まっている場合に発表されます。

地震がいつ起きるのか正確に予測することは難しいですが、まれに巨大地震に先立って「ひとまわり小さな地震」が発生することがあります。

このような時、内閣府及び気象庁が発表する情報を「北海道・三陸沖後発地震注意情報」といいます。

## ■ 「事前の備え」が重要です！

この情報が発表されたら、地震発生から1週間程度、平時よりも大規模地震の発生に注意し、揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりした際に、すぐに避難できる準備等を徹底しましょう。

## ■ 防災基礎クイズ

Q 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の発生頻度は次のうちどれか。

①約100～200年 ②約300～400年 ③約800～1000年

毎月11日は「防災を考える日」です。震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。



〔内閣府HP〕



〔気象庁HP〕

詳細は、  
こちらから  
ご確認ください

答え：②（この場所で最後に発生した巨大地震は17世紀頃で、既に300～400年が経過しているため、次の巨大地震の発生は切迫している状況にあると考えられています）